

# 加 茂 名 南 小 学 校 総 括 評 価 表

(No.1)

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
		評価指数と活動計画	評価	学校関係者の意見		
<p>確かな学力の育成</p> <p>①「わかる授業」で子どもの意欲を高め、学力の向上を図る。</p> <p>②基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。</p> <p>③体験活動を充実し、知識・技能を活用して自ら考え、判断し、表現する力を育成する。</p> <p>④授業において様々な文章を読む機会や自分の考えを筋道を立てて文章で書いたり、話したりする機会を積極的に設ける。</p> <p>⑤読書活動を充実する。</p> <p>⑥特別な支援を必要とする児童への指導・支援を充実する。</p> <p>⑦「家庭学習の手引き」を活用し、家庭と連携しながら、児童の家庭学習の定着を図る。</p>	<p>①「わかる授業」で子どもの意欲を高め、学力の向上を図る。</p> <p>②基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。</p> <p>③体験活動を充実し、知識・技能を活用して自ら考え、判断し、表現する力を育成する。</p> <p>④授業において様々な文章を読む機会や自分の考えを筋道を立てて文章で書いたり、話したりする機会を積極的に設ける。</p> <p>⑤読書活動を充実する。</p> <p>⑥特別な支援を必要とする児童への指導・支援を充実する。</p> <p>⑦「家庭学習の手引き」を活用し、家庭と連携しながら、児童の家庭学習の定着を図る。</p>	<p><b>評価指数</b></p> <p>①「学習がよくわかる」と回答の児童が90%以上。また、「お子様は学習していることがよくわかっている」と回答の保護者が90%以上。</p> <p>②「基礎的・基本的な学習を理解している」と回答の教師のポイントが昨年度を上回る。</p> <p>③「自分の思いや考えを伝える力が育っている」と回答する教師のポイントが85%以上にする。</p> <p>④児童の取り組みについて、毎月1回学年日より等で紹介する。</p> <p>⑤「進んで読書をしようとしている」と回答する教師のポイントが昨年度を上回る。また、読書が好きな児童が70%以上。</p> <p>⑥「校内の支援体制が有効に機能している」と回答の教師のポイントが昨年度を上回る。</p> <p>⑦「宿題や家庭学習を進んでいる」のポイントが80%以上にする。</p>	<p><b>評価指数の達成度</b></p> <p>①児童88.8%、保護者84.2%で達成できなかったが、昨年度より上昇している。</p> <p>②教師1.9(昨年1.7)で上回ることができた。</p> <p>③教師65.6%で達成できなかった。</p> <p>④学年日より、「なんなんタイムズ」、学校ホームページで活動を紹介することができた。</p> <p>⑤教師の評価は1.8(昨年1.8)で達成できなかった。読書が好きな児童は、73.4%(昨年67.7%)で達成できた。</p> <p>⑥教師2.2(昨年2.2)で達成できなかったが、数値は高い。</p> <p>⑦児童87.2%(昨年78.9%)、保護者80.1%(昨年70.2%)で達成できた。</p>	<p><b>総合評定</b></p> <p style="text-align: center;">B</p> <p><b>(所見)</b></p> <p>○どの教科においても「学習のめあて」と「ふりかえり」を明確にし、発問計画や板書計画にも積極的に取り組み、わかる授業の工夫改善に努めた。その結果、学習規律の定着や学習態度の向上が見られるようになった。</p> <p>○自尊感情の低いことが課題であったが、少しずつ向上していることがアンケート結果からうかがえる。学習意欲向上の一つの要因であると考えられる。</p>	<p>○授業時間の子どもたちの様子が昨年とは違う。子どもたちの授業に対する姿勢や取り組み方がよくなっている。先生方のこれまでの取り組みが、少しずつ花開いてきていると思った。更に頑張っていたきたい。</p> <p>○TTがうまく機能していると思った。</p> <p>○最新の機器を使った授業を最近観る機会があった。教師の意識が変わらないと、どんな機器を使ってもだめである。機器を使って何を教えるのかをはっきりさせなければいけない。「機器に使われるな」といわれるが気をつけなければいけない。</p> <p>○5年生のよくまとめられたノートを見せてもらった。ノートをまとめる力は、学力向上につながる。ノートで学習の振り返りをしたり、次の学習に生かせるようにしたりするとともに、自分の成長を感じられるようにしてほしい。</p>	<p>○学習規律の定着が、更に確かなものになるように、次年度につなげて実践する。</p> <p>○日々の授業改善の努力と問題解決的な学習の授業づくりを行い、わかる授業と楽しい授業づくりに一層努める。</p> <p>○学校全体で取り組むユニバーサルデザインの視点をふまえた支援について共通理解を図り、実践する。</p> <p>○家庭学習の手引きを活用し、家庭学習の定着を図る。</p> <p>○教育環境づくりに配慮する。</p>
		<p><b>活動計画</b></p> <p>①学習意欲を高める指導方法の工夫改善を行う。</p> <p>②-1 朝の活動の充実を図る。</p> <p>②-2 繰り返し学習、家庭学習を充実する。</p> <p>③体験活動を取り入れた授業の充実を図ることにより思考力・判断力・表現力を育成する。</p> <p>④図書の実用と整理。ボランティアの活用。</p> <p>⑤-1 特別支援教育の充実を図るため、適切な就学指導を実施する。</p> <p>⑤-2 個に応じた授業改善を図る。</p>	<p><b>活動計画の実施状況</b></p> <p>①授業研究会を計画的に実施し、授業のスキルアップを図った。</p> <p>②朝の活動を8時10分スタートとし、基礎的・基本的事項の習得を図った。毎週水曜日に様々な朝の体操を実施した。</p> <p>③地域の方やゲストティーチャー等を積極的に活用し、地域社会との交流(地域の探検や施設の見学)を通してコミュニケーション能力の育成を図った。</p> <p>④積極的に学校図書館活用を呼びかけるとともに図書室の環境整備を季節毎に行なった。また、「なんなんお話ポケット」による読み聞かせを実施。</p> <p>⑤特別支援コーディネーターを複数配置し、有効に機能する校内支援体制づくりを継続して行った。</p>	<p><b>評価指数の達成度</b></p> <p>①教師のポイントは、1.9(昨年1.8)で達成することができなかったが、昨年を上回ることができた。</p> <p>②教師のポイントは、87.5%(昨年74.3%)で達成することができた。</p> <p>③児童の回答は84.7%で達成できた。保護者の回答は79.5%で達成できなかった。教師のポイントは67.7%(昨年45.7%)で達成できた。</p> <p>④「0分スタート、0分終了」を全学級で取り組んだ。</p> <p>⑤きまりを守っている児童が87.1%、保護者の回答は89.3%で達成できた。教師は1.9(昨年1.4)で達成できた。</p> <p>⑥達成率93.9%(昨年82.9%)で達成できた。</p>	<p><b>活動計画の実施状況</b></p> <p>①一人一人の児童の思いや願いを把握して生徒指導にあたり、全ての教育活動において人権感覚を高める指導を行うよう努力した。</p> <p>②自主的な児童会活動ができるように指導・支援を継続して行った。</p> <p>③児童会が中心となり、あいさつ運動を行った。教師も立哨箇所で行った。</p> <p>④三部会での話し合いを積極的に行い、全教職員の共通理解を図り、指導した。</p> <p>⑤地域の探検や公共施設の見学などを通して地域理解を深めた。また、地域の人材を積極的に活用した。</p>	<p>(評定)</p> <p style="text-align: center;">B</p> <p><b>(所見)</b></p> <p>○人間関係に関するアンケート結果から、いじめにつながる問題行動は減少している。</p> <p>○児童の自主的なあいさつ運動や朝の奉仕活動により気持ちのいい朝のスタートとなっている。</p> <p>○三部会での話し合いを共有化することで、組織的な対応・指導ができた。</p>
<p>豊かな心の育成</p> <p>①自分の思いを伝え、また友達の気持ちも理解できるようにする。</p> <p>②集会活動やボランティア活動等の充実を図り、豊かな心や主体的な態度を育てる。</p> <p>③気持ちのよい挨拶や「はい」の返事ができるようにする。</p> <p>④「0分スタート、0分終了」を徹底し、学習リズムの定着を図る。</p> <p>⑤落ち着いた話を聞き、集中して取り組む等けじめのある態度を育てる。</p> <p>⑥地域の自然や文化・人々との関わりを大切にする。</p>	<p>①自分の思いを伝え、また友達の気持ちも理解できるようにする。</p> <p>②集会活動やボランティア活動等の充実を図り、豊かな心や主体的な態度を育てる。</p> <p>③気持ちのよい挨拶や「はい」の返事ができるようにする。</p> <p>④「0分スタート、0分終了」を徹底し、学習リズムの定着を図る。</p> <p>⑤落ち着いた話を聞き、集中して取り組む等けじめのある態度を育てる。</p> <p>⑥地域の自然や文化・人々との関わりを大切にする。</p>	<p><b>評価指標</b></p> <p>①「子どもたちに友達を思いやる優しい気持ちがある。」の教師のポイントが2.0以上で、昨年を上回る。</p> <p>②「集会・ボランティア活動の充実を図ることができた。」の教師のポイントを85%以上にする。</p> <p>③「あいさつや正しいことばづかいができていく。」の回答の児童80%以上、保護者80%以上、教師のポイントは昨年を上回る。</p> <p>④「0分スタート、0分終了」の取り組みを徹底する。</p> <p>⑤「学習のきまりや生活のきまりを守っている。」の回答の児童が80%以上、保護者80%以上。教師のポイントは昨年を上回る。</p> <p>⑥「地域と連携協力した取組を積極的に取り入れることができる。」のポイントが昨年度を上回る。</p>	<p><b>評価指数の達成度</b></p> <p>①教師のポイントは、1.9(昨年1.8)で達成することができなかったが、昨年を上回ることができた。</p> <p>②教師のポイントは、87.5%(昨年74.3%)で達成することができた。</p> <p>③児童の回答は84.7%で達成できた。保護者の回答は79.5%で達成できなかった。教師のポイントは67.7%(昨年45.7%)で達成できた。</p> <p>④「0分スタート、0分終了」を全学級で取り組んだ。</p> <p>⑤きまりを守っている児童が87.1%、保護者の回答は89.3%で達成できた。教師は1.9(昨年1.4)で達成できた。</p> <p>⑥達成率93.9%(昨年82.9%)で達成できた。</p>	<p>(評定)</p> <p style="text-align: center;">B</p> <p><b>(所見)</b></p> <p>○人間関係に関するアンケート結果から、いじめにつながる問題行動は減少している。</p> <p>○児童の自主的なあいさつ運動や朝の奉仕活動により気持ちのいい朝のスタートとなっている。</p> <p>○三部会での話し合いを共有化することで、組織的な対応・指導ができた。</p>	<p>○子どもたちが、どんどん変わってきている。先生方の力のおかげである。これからも頑張っていたきたい。</p> <p>○服装の乱れは、心の乱れにつながる。服装について、徹底した指導をしてもらおうと中学校も助かる。中学校との連携も大切である。</p> <p>○服装については、保護者の関心も高い。細かくなりすぎてもいけないし、基準がはっきりしないのも困る。</p>	<p>○年3回実施している「いじめに関する調査」は、今後も定期的に行い、いじめ解消と根絶に向けて指導を継続していく。</p> <p>○平成27年度道徳教育実践研究(研究指定校)事業での研究成果をもとに、更に豊かな心の育成に努める。</p> <p>○学級における一人一人の存在価値を自覚させ、自己肯定感や有能感の高揚を図る。</p>

「評定」の基準    A：十分達成できた    B：おおむね達成できた    C：達成できなかった

# 加 茂 名 南 小 学 校 総 括 評 価 表

(No.2)

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価	学校関係者の意見	次年度への課題と今後の改善方策
		評価指数と活動計画	評価	学校関係者の意見		
健やかな体の育成	①体を動かす楽しさが味わえるような工夫をし、体力の向上を図る。 ②外遊びや徒歩による登下校を推進する。 ③「早寝・早起き・朝ご飯」を推進し、食育や健康・安全に関する学習を充実する。 ④安全教育や防災教育を推進し、子ども自ら安全な行動がとれるようにする。	<b>評価指標</b> ①-1 新体力テストでD, E評価を30%未満にする。 ①-2 「運動の楽しさを味わえるように授業を工夫することができた。」教師のポイントが2.2以上。 ②「休み時間に外で元気に遊んでいる」と回答の児童が昨年より上回る。 ③「早寝・早起き・朝ご飯」ができているの回答の児童85%以上、保護者85%以上。	<b>評価指数の達成度</b> ①-1 新体力テストの結果4年(42%), 5年(13%), 6年(23%)で、5・6年は達成できた。 ①-2 授業の工夫改善については2.0(昨年2.0)で目標の達成には至らなかった。 ②児童の回答は70.9%(昨年65.6%)で達成することができた。 ③児童は78.4%, 保護者は84.9%で達成できなかった。	(評定)  B	○体力向上の基本は、「早寝・早起き・朝ご飯」である。そして、しっかり外遊びをすることである。  ○登下校は、徒歩通学が基本である。自分の足で歩かなければ体力はつかない。車での送り迎えは、子どものためにならない。	○「全校なわとび集会」や「元気アップチャレンジランキング」への参加は、児童の中に記録向上への意欲と学級の仲間としての一体感を生んだ。児童が楽しんで体を動かしたり、目標をもって運動したりできるように、授業の工夫改善等に取り組む。  ○食育リーダーを中心に食育を推進する。  ○健康・安全教育の充実を図る。
		<b>活動計画</b> ①運動の楽しさが味わえるように授業等を工夫する。  ②休み時間の確保と体育館の開放。徒歩登下校の保護者への協力要請。  ③「早寝・早起き・朝ご飯」の保護者への啓発と協力要請。	<b>活動計画の実施状況</b> ①-1 学校独自の体育科カリキュラムの作成 ①-2 体力向上を支援する体育授業の工夫改善 ①-3 小体連3事業・クロスカントリーへの練習参加の奨励 ①-4 「全校なわとび集会」の実施、「元気アップチャレンジランキング」への参加 ②-1 昼休み、学年ごとに体育館を開放し、運動遊びの奨励 ②-2 教師が率先して外で児童と遊ぶ。 ③学年だより等で徒歩通学の奨励、朝食の重要性、睡眠時間の確保の有効性を伝える。	(所見) ○新体力テストの結果は、全体的に見ると向上している。しかし、課題のある学年もある。 ○外遊びをよくする児童とそうでない児童の二極化が見られる。体を動かすことの楽しさや爽快感を実感する経験が少ないと思われる。		
信頼される学校づくり	①学校教育活動アンケートを実施し、学校教育活動の改善に努める。 ②ホームページ等で学校での教育活動の様子を積極的に発信する。 ③学校行事等への積極的参加を呼びかける。 ④「加茂名南小子ども安全見守り隊」等の学校安全体制を充実する。	<b>評価指標</b> ①学校行事後に教職員や保護者にアンケートを実施。 ②-1 ホームページの更新を最低1ヶ月に1回と学校行事等の様子を写真等で発信する。 ②-2 「学校は経営方針や教育活動等をわかりやすく伝えている。」と回答の保護者が80%以上 ③-1 学校行事等への参加者を案内文書で呼びかける。 ③-2 「地域と連携協力した取組を積極的に取り入れることができています。」と回答した教職員のポイントが昨年を上回る。 ④地域や保護者の協力と教職員の校区内巡視を1週間に1回以上実施する。	<b>評価指数の達成度</b> ①学校行事について教職員は実施でき、改善に繋げることができた。保護者については、年間3回のオープンスクール週間中に実施し、意見を求めた。 ②-1 学校行事を実施後、ホームページへの掲載ができた。 ②-2 保護者84.1%(昨年度81.3%)で達成できた。 ③-1 保護者への案内を文書とメールで送付したことで参加者が増えた。 ③-2 教職員2.0(昨年1.9)で達成できた。 ④登下校の見守り隊による巡視を毎日実施できた。教職員も下校指導を実施した。そのため、不審者情報がほとんどなく、児童が被害に遭うことはなかった。	(評定)  B	○先生方は、信頼される学校づくりのために、日々努力している。  ○子どもたちや地域の実態に合った教育活動がなされている。  ○見守り隊の巡視によって、不審者への抑止力になっている。  ○地域との連携によって、一体となって子どもを育ててほしい。	○保護者、地域、関係諸機関との一層の連携を図る。  ○「読み聞かせボランティア」や「子ども安全見守り隊」の活動について、今後も協力要請していく。  ○オープンスクール週間や学校行事等を通して、幅広く教育活動を参観してもらおう。また、アンケート等により意見を求める。  ○ホームページについて、内容の充実を図り、定期的に更新するなどして、積極的に情報発信する。
		<b>活動計画</b> ①学校行事終了後に教職員、保護者や参加者にアンケートの実施。また、学校評価(教職員、児童、保護者)の実施。学校関係者評価の実施。  ②ホームページ、「学校だより」「学年だより」による教育活動の発信。 ③地域や関係諸機関との連携による行事の実施。  ④-1 地域ボランティアの「子ども安全見守り隊」によるパトロールを実施。  ④-2 教職員の定期的な下校時の校区内巡視を行う。	<b>活動計画の実施状況</b> ①教職員は、学校行事終了後のアンケートを実施できた。「保護者」「児童」「教職員」によるアンケート(学校評価)を実施。アンケート結果を保護者に報告。学校関係者評価も実施できた。 ②ホームページを更新し、「なんなんタイムズ」「学校だより」「学年だより」を定期的に発行する。 ③「夏のお話会」「PTA文化祭」「星空観察会」を実施。 ④-1 17人の方が登録し、登下校時にパトロールを実施した。  ④-2 学校安全の日等、適宜巡視を行った。	○学校ホームページによる情報発信を行った。  ○PTAや地域と連携した学校行事や地域行事(文化祭、どんど焼き、星空観察会等)を実施し、連携を深めた。  ○地域の方によるパトロールで不審者に対する抑止力となっている。  ○オープンスクール週間を年間3回実施し、普段の学校生活を参観してもらうことができた。		

「評定」の基準    A：十分達成できた    B：おおむね達成できた    C：達成できなかった